



末吉小だより

横浜市立末吉小学校
学校だより

令和5年 6月号

～ 150th Anniversary ～

自分のからだを知ろう

副校長 藤野 俊子

学校では、学校保健安全法施行規則に基づいて、毎年4月から6月にかけて健康診断を実施しています。学校の健康診断は、病気や異常の早期発見の場としてだけでなく、どうしてするのかどんな内容なのかを伝えながら、子どもたちが自分のからだに関心を持ち健康課題を考える教育の場でもあります。身長が伸びたと嬉しそうな子、視力が落ちてゲームのし過ぎかなあと考える子、歯科検診で歯みがきを忘れて恥ずかしそうな子、特に気になる結果がなくホッとしている子、どの子も自分のからだ向き合っています。中には自分の成長に漠然とした不安をもっている子もいるかもしれません。6月もまだしばらく健康診断が続きます。ご家庭でも話題にさせていただき、お子さんが健康について考えたり、ご家族と一緒に生活習慣を振り返ったりする機会にしてみたいはいかがでしょうか。

さて、5月5日、WHOは新型コロナウイルスの国際的な緊急事態宣言の終了を発表し、日本では5月8日から、新型コロナウイルスの分類がインフルエンザ等の感染症と同じ第5類に変更になりました。2020年1月から3年4ヶ月にわたって続いた新型コロナウイルスの対応、誰もが様々な思いを抱え過ぎてきたことと思います。今年に入ってから、人との距離感やマスクの着用について段階的に緩和されました。ここでも子どもたちの反応は様々です。コロナ前のような活動ができることを喜ぶ子どもたちもいれば、今もなおマスクなしの活動や対面給食に不安を感じる子どもたちもいるのが、今の学校の様子です。どの子どもにとっても安心して楽しく過ごせる学校であるよう、引き続き活動や対応に工夫を重ねてまいります。

感染症対策については、法律や方針に基づいた一律の対応ではなく個人の判断が基本となります。判断をするためには、正しい知識や情報が必要です。先日の朝会では、保健委員会の児童が感染症の予防「手洗い、換気、咳エチケット」について動画で発表していました。1年生にも分かりやすいよう、伝えたい内容を短くまとめたりポスターを見せたりしてくれていました。学校での健康診断や活動を通して、子どもたちが自分のからだを知り、健康について関心を持ち、自分のこととして行動できる力を身に付けて欲しいと思います。

末吉小学校は今年150周年を迎えます。5月に入ってすぐの頃に撮影した航空写真のデザイン（さくらちゃんとクローバーちゃん）の下書きです。

撮影時は風が強く、子どもたちが持っていた色画用紙が飛んでしまう瞬間もありましたが、空からどんなふうに見えていたのか出来上がりが楽しみです。



学校の電話は、平日の夜間および早朝（17:30～7:45）、土、日、国民の祝日、長期休業期間等にはメッセージ対応としております。ご理解ご協力をお願いいたします。

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sueyoshi/>